



わたうち



令和元年10月9日発行 No.10

10月に入り、今年度も折り返しを過ぎました。これから気候も過ごしやすくなり、勉強に、スポーツに、読書に、創作活動に・・・、様々なことに**チャレンジ**できる「秋」まっさかりです。運動会で培った最後まであきらめないで取り組む気持ちや団結力を今後の学校生活につなげてほしいと願っています。子ども達が健康で元気に過ごせますよう、ご家庭でもご配慮ください。

運動会特集 ～つかみとった！ 令和最初の大勝利！～

9月28日(土)、天候に恵まれ、たくさんの来賓の皆さま、保護者や地域の方々にお越しいただき、令和元年度綿打小運動会が開催できました。たくさんのご声援、ありがとうございました。

前日のテント張り等の準備や当日の係、そして片付けまで、PTAの皆さまのお力をお借りする場面が多々ありました。また、テント片付けにはお父さん方もたくさん参加してくださり、大変助かりました。

前日の場所取りも皆さんが時間を守ってくださり、当日も大きなトラブルなく運動会を運営できました。これもひとえに、保護者の皆さまのご協力のお陰と深く感謝いたします。

当日は、清々しい秋空の下、赤城団、榛名団、妙義団に分かれ、全校児童が元気よく行進し入場しました。児童会役員の進行による開会式では、児童会長栗原亮汰くんの立派な選手宣誓があり、ラジオ体操の後、80M徒競走(3・2・1年)のレースが行われました。各学年ともセパレートコースですが、自分のコースを最後まで全力で走りきる子ども達の姿は、それだけで見ている私たちの心を揺さぶります。100M徒競走(5・4・6年)になると、力強さが加わり、全力でゴールを駆け抜ける姿は、頼もしく見えました。(2面へ続く→)



校旗を先頭に堂々とした入場行進



1年徒競走



2年徒競走



3年徒競走



4年徒競走



5年徒競走



6年徒競走

< 1面から続く > ～つかみとった！ 令和最初の大勝利！～

また、低学年のかわいさいっぱい表現「すすめナンセンス」、リズムカルで元気いっぱいの中学年の「フレンド・ライク・ミー」、いずれも、これまで積み重ねた練習の成果を思い切り発揮して楽しそうに踊る姿に思わず笑みがこぼれました。

高学年のラージジャンプは、1分間に大縄をクラス全員で続けて何回跳べるかを競います。どのクラスも、休み時間にみんなで数を数えながら練習する声が、毎日のように校庭から響いていました。初めのうちは、その回数は1回や3回だったのが、少し増え、それでも10回行くことはなかなかありませんでした。それが、本番では20回を超え、最高記録のクラスもあったとのこと。ここにも、子ども達の団結がみられました。

午前の部の最後は「交流綿打ばやし」。「綿打ばやし保存会」の皆さまが25名おいでくださり、校庭の中心の円で踊り、そのまわりに三重円を作り、保護者の皆さまも多数ご参加くださいました。地域の温かさを身に染みて感じた一コマでした。ありがとうございました。



低：すすめナンセンス



中：フレンド・ライク・ミー



ラージジャンプ

午後の部は、「団対抗綱引き」で始まりしました。これは、各団各学年8名ずつ計48名の選手が力を合わせて綱を引きます。

また、遊競技は、低学年の「デカパンリレー」、中学年の「綿っ子タイフーン」と、今年から2学年合同となり、それぞれ団のみんなで競いました。



綿打ばやし

高学年の組立表現「いだてん～綿打クタイウ嘶～」は、15分の大作でした。一人技から始まり、二人技、数名でと徐々に人数が増えていきますが、常に集団でそろえる、心を一つにして形を作ることを目標に取り組んできました。難度を抑え、単純な動きでも全員がそろった時の美しさ、指先・つま先まで伸びている体遣いなど、集団演技の醍醐味をふんだんに取り入れ、一つ一つの技に真剣に取り組む5・6年生の姿に、涙する保護者の皆さまもいらっしゃいました。最後は、団対抗リレー。選手によるリレーは抜きつ抜かれつ、さすがにどのレースも手に汗握る大接戦でした。

組み立て：いだてんギャラリー



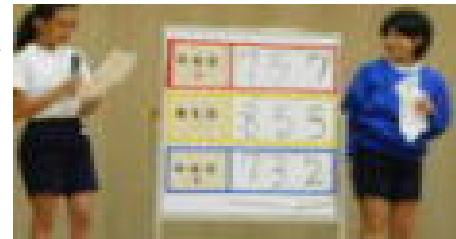
そして無事に閉会式。前日準備とともに最後の片付けも6年生が本当によくやってくれました。5・6年生の各係のてきぱきとした動きも素晴らしかったです。(写真右→)

子ども達は、練習の成果を発揮した満足感はもちろん、協力することの大切さやみんなでやり遂げた達成感など、たくさんのお事を学んだ1日だったと思います。



成績発表は10月4日(金)朝の全校集会で行いました。点数の結果は、右の通りでしたが、運動会を通してまた一つ成長した子ども達「全員に『令和最初の大勝利』を送ります、」と話しました。

この経験を今後の学校生活につなげて、さらにジャンプアップできるように、職員一丸となって、指導に当たります。



4年 歯科指導・清掃センター見学

9月20日(金)、4年生を対象に「歯科保健指導」を行いました。当日は、4名の歯科衛生士さんが1時間ずつ各教室をまわり、虫歯のできかたや歯の正しい磨き方などを丁寧に教えてくださいました。

4年生は、乳歯から永久歯に生えかわり始める時期なので、一生使う大事な歯を長く守るために正しい磨き方を身につけてほしいです。



9月25日(水)社会科「ゴミのゆくえ」の学習で、市バスを利用して、「清掃センター・リサイクルプラザ」の見学に出かけました。清掃センターでは、大量のゴミが、実際にクレーンで運ばれる様子などを見学しました。ゴミを減らすためにできることなど、各自が考えたり学習をまとめたりするきっかけになりました。

6年 高齢者疑似体験

10月7日(月)に、6年生が総合的な学習の時間の一環として、「高齢者疑似体験」活動を行いました。講師に、七星会の皆さんが来てくださり、各クラス1時間ずつ体育館で、装具を付けて歩いたりゴーグルを付けて字を書いたりして、高齢者の動きづらさや見づらさなどを体験しました。それらをもとに、テーマを決め、高齢者に対する理解を深め、自分に合った課題や何ができるかなどを考え、追求していきます。

2人組で交代して装具を付けましたが、誘導する側になると、自然に手で支えたり少し前を歩くように配慮する姿も見られ、相手に対する思いやりを育むよい機会にもなりました。



防災についての話 ～「災害から命を守る」～

10月2日(水)朝の全校集会の時間に小柏先生から、防災についてのお話をいただきました。これは、小柏先生が、夏休み中に太田市の研修の一環で、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市に視察に行き、見たり説明を聞いたりしてきたことをまとめてくれたものです。それを下の写真のように、大きな画面の画像とともに、分かりやすく説明してくれました。



3.3メートルの津波が押し寄せた小学校には、校舎の一階の天井くらいまで水に浸かったという印が残してあるという画像が説明とともに映し出されると、子ども達から「えー」という声が上がりました。

また『今まで経験したことの無い揺れが襲い、全国合わせると亡くなった方は1万5886人、行方が分からなくなっている人は2536人』という説明に、一瞬ざわめきも起こりました。

今から8年半前の出来事は、多くの子ども達がまだ生まれる前、あるいは記憶に残っていないことです。でも、風化させてはいけません。

最後に、『避難訓練は、命の守り方を学ぶ大事な訓練です。休み時間だったら、家に一人でいたら、など、いろいろな場面を頭に入れて、どうしたら良いかを考えておくこと、災害に備えて、物と心の準備をしておくことが大切だと学んできました。』という言葉は、私たち大人も肝に銘じておかねばと改めて思いました。

こすだのつづやき・・・略して「こ・つ・ぶ」

Vol.8



十五夜に まつわるできごと

十五夜は、「中秋の名月」ともいわれ、一年の中で、月が一番きれいに見える頃の満月の事で、今年は9月13日でした。

うっかりしていた私は、13日の朝になって、今日が十五夜と気づきました。でも、学校の周りに薄(ススキ)くらいあるだろうと軽い気持ちで出勤し、自転車で探しに出かけました。北から西、そして南へ走ってみましたが、なかなか見当たりません。コミュニティー公園のところで、グランドゴルフにいらした地域の方とおぼしき女性にお会いしたので尋ねてみると、「昔は石田川にたくさんあったけどね～」とのこと。

そこで、石田川沿いまで行ってみると、ススキのような背の高い雑草が川岸に群生しています。ちょっと違うかな。でも似ているしーと思い、10本ほど刈って、学校へ戻ろうと再びコミュニティの横を通ると、先ほどより人が増えていました。そこで、お礼を言いがてら「でもこれ薄じゃないですよ。」と尋ねると、みなさんが「う～ん、ちょっと違う気もするけど、でも子ども達に見せたいという先生の気持ちが大事よ。大丈夫」と励ましてくださいました。

こうして、校内に飾り、お昼の放送で十五夜について簡単に説明することができました。

季節を感じる様々な働きかけを心がけていますが、地域の方から教えていただいたことが、とてもありがたく、また尋ねる(声をあげてみる)ことの大事さも、実感しました。

蛇足ですが、今年の十三夜は10月11日です。十五夜に次いで月の美しい日といわれています。家族で秋の夜空を眺めてみるのもよいのでは・・・。



